「第２回 NSK 全国書写書道誌上展」

～徳川家康公顕彰 410 年記念～

作品募集要項

主催／日本書道教育協会
協賛／久能山東照宮　後援／(一財)日本書写技能検定協会

※NSKは「日本書道教育協会(＝日書協)」の略語

[出 品 料] **1人1点につき200円**(各部門への出品可)
※日書協会員および小・中・高等学校の団体は無料

[出品締切] **9月27日(土)必着**
●申込時に**必ず作品内訳表を添付して下さい。**
責任者は郵便局払込取扱票にて口座番号**「00130-1-193885」**加入者名**「日本書道教育協会」**とご記入の上お振込み下さい。

[授　　賞] ・NSK 誌上展大賞　・NSK 誌上展準大賞
・久能山東照宮宮司賞　・奨励賞
・審査員特別賞　・特選　他

[審査発表] 審査結果は日本書道教育協会発行『現代書写』(11月号)にて掲載。会員外には、取扱責任者に『現代書写』を贈呈。ホームページでも受賞者の発表をする予定。
※名前の掲載に支障のある方は事務局までご一報ください。

[そ の 他] 展示および表彰式の有無については、現在検討中

[硬筆部門] 課題語句（「」は書かない。）

幼年 …「えどの　まち」
小１ …「えどは、日本のくにの中心でした。」
小２ …「家やすの少年時の名前はたけちよです。」
小３ …「長年、平和な世の中をきずいた天下人。」
小４ …「静岡のれきし研究の成果を発表する。」
小５ …「関ヶ原の戦いで、徳川軍は石田軍に勝利をおさめた。」
小６ …「時間を決めて効率よく取り組むのも文武両道のコツだ。」
中１ …「家康公は江戸に幕府を開き、初代将軍になりました。」
中２ …「久能山下の石鳥居から本殿前までの千百五十九段を登る。」
中３ …「静岡県はかつて遠江国・駿河国・伊豆国の三つに分かれていた。」
高校・一般
…「人はただ身の程を知れ草の葉の露も重きは落つるものかは」（伝徳川家康『東照遺訓』より）

[毛筆部門] 課題語句

幼年	**え**	小１	**えど**
小２	**たけちよ**	小３	**天下**
小４	**成果**	小５	**勝利**
小６	**文武両道**	中１	**初代将軍**
中２	**千段を登る**	中３	**駿河の国**
高校一般	**漢字「武芸」「久能山東照宮」** **細字「鳴かぬなら　鳴くまで待とう　ホトトギス」** **かな「松高き（まつたか）　丸山寺の（まるやまじ）　流(れ)の井　いくとせすめる　秋の夜の月」**		

○小・中学生の字体・書風等は学習指導要領に準拠します。
○中学生は**楷書（許容の形）・行書**どちらで書いても構いません。
※高校・一般の方の＜毛筆部門＞は、漢字・細字・かな課題（９点）より**１点のみが出品可能**となります。
※『現代書写』９月号を参照下さい。

〔作品サイズ〕
①毛筆の部→半紙
作品表面に**毛筆**で学年・氏名を記入
②硬筆の部→**日書協指定硬筆用紙（B5サイズ）**
ホームページよりダウンロード可能
[←左例参照]
※幼児、小学１・２年、高校・一般は名（雅号）または印のみでもよい。
(裏面に氏名を鉛筆で記入)
※学年の書き方は「中二」または「二年」としてもよい。

[審　　査] 審査員長／平形精逸（静岡大学名誉教授・日展審査員）
審 査 員／日本書道教育協会　審査員

募集

来年の世界の世相に期待する手書きによる 第２回 新春の漢字

〈特別協賛〉久能山東照宮

【募集期間】 **12月1日～ 12日**
【発　　表】 1月３日 11 時　久能山東照宮にて揮毫
【応募資格】 どなたでも（無料）
【応募内容】 来年（2026 年）の世界の世相に期待する「漢字一文字（昨年の「輝」を除く）」を書で（書体・書風自由）表現してください。

※同一の文字を複数応募することはできません。
※異なる文字の場合には複数の応募可とします。
※デザイン文字（レタリング等）でも結構です。
※押印はどちらでも構いません。

【応募方法】 ホームページ（応募フォームに直接入力）またはハガキの郵送　※郵送の場合は 12 月 12 日㈮必着

【問合わせ先】

日本書道教育協会　〒 422-8067　静岡市駿河区南町 13-3TK ビル 7F　TEL:054-287-2411 ／ FAX:054-287-2410

※要項等のお取り寄せは、日本書道教育協会ホームページをご利用下さい。